



ENJOY & CHALLENGE



Since 2017

2026年10月5日発行

教育目標「生き生きとした子ども」 小中一貫校まつのやま学園だより

第6号



「見えるもの」の奥に

学園長 日本 芳道

先日、「春夏冬」と書いてある看板に出会いました。四季の中で秋だけがないことから「秋ない（あきない）」と読み、「商い」を表す言葉です。こうした言葉や絵を組み合わせた謎解きは「判じ物」と呼ばれ、江戸時代に盛んになったそうです。判じ物を読み解くには、知っていることだけでなく、見方を変えたり、いくつかのことを結び付けたりする力が必要です。答えにたどり着いた時の喜びも、判じ物の楽しさの一つです。

考えてみれば、子どもたちの姿も、私たちにとって一つの「判じ物」なのかもしれません。いつもより口数が少ない。友だちとのかかわり方が少し違う。以前ならできていたことに取り組もうとしない。反対に、急に何かに夢中になったり、誰かに優しく声を掛けたりする。そこには、表面に現れている行動だけでは分からない、その子なりの思いや願いが隠れていることがあります。

子どもは、自分の気持ちをいつでも上手に言葉にできるわけではありません。だからこそ、「どうしてそんなことをしたのか？」とすぐに答えを求めるのではなく、「何かいつもと違うな」と立ち止まり、行動の変化を手がかりに考えてみるのが大切なのだと思います。「もしかしたら、こんな思いなのかもしれない」と考えて、もう一度様子を見してみる。話を聴いてみる。誰かと話してみる。すると、これまで見えていなかったものが見えてくることがあります。

子どもを「分かる」のではなく、「分かろうとする」。そのためには、じっくりと見つめ、耳を傾け、言葉を交わすことが大切です。すぐには答えが見つからなくても、「もしかしたら」と考え続けることが大切なのだと思います。そうして子どもを見つめていると、私たち大人の見方や考え方も、少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。

子どもの小さな変化を手がかりに、その奥にある思いを想像してみる。「やってみよう」と踏み出す小さな挑戦をそっと支え、「なぜだろう」という問いを一緒に楽しんでみる。そんな日々の積み重ねの中で、子どもたちは安心して自分らしく歩み始めます。そして、その安心や喜びが、家庭から学園へ、学園から地域へと少しずつ広がっていった時、そこに「幸せが広がる」学園の姿があるのだと思います。

深まりゆく秋。子どもたちの姿を丁寧に読み解きながら、私たち大人もまた、子どもたちに教えてもらい、考え、学び、成長していきたいと思います。さて、10月31日(土)は創立10周年記念式典・記念祝賀会です。皆さまで、喜びを分かち合いましょう。

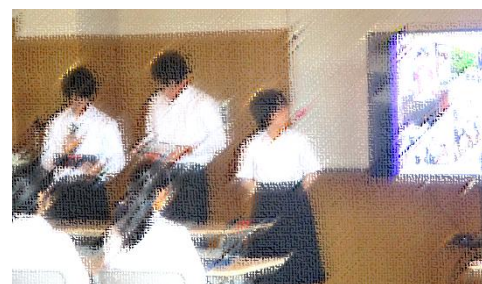
9月17日（木） メディア講演会

P T A及び学園運営協議会（家庭教育充実部会）によるメディア講演会を行いました。講師は長岡少年サポートセンターからお越しいただき、具体的な事例などを交えてご講演いただきました。子どもたちにとってインターネット環境はかなり身近な存在となり、市から貸与されている学習用端末を所持しています。また、個人でスマートフォンなどを利用する子どもも増加しています。そのような中、必要な知識が身に付かないまま SNS を利用したり、インターネット上の情報がすべて正しいと思い込んだりする子どもたちもいます。実際に中学生などが犯罪に巻き込まれ逮捕されるケースや大きな事件の被害者になるケースなどを具体的に教えていただきました。身近に潜む危険性をしっかりと認識し、子どもたち自身が意識を高めると共に大人も子どもたちを守るために何ができるか考えていきたいものです。



9月17日（木） 8年生職場体験学習・9年生修学旅行報告会

8年生職場体験学習と9年生修学旅行の報告会を実施しました。保護者の皆様や学習にご協力いただいた地域の皆様にもお越しいただき、子どもたちが体験を通して学んだことを発表しました。8年生の職場体験学習では働くことの大変さや喜びを、実際に働くことを通して学ぶことができ、子どもたち自身も考え方が変わったという意見が発表の中にたくさん出てきました。指示されたことだけでなく、周囲をよく見て自ら考え動くことの大切さについて学び、実生活にも生かしている生徒もいました。9年生は大阪、京都、金沢の修学旅行を通して学んだことを発表しました。特に2日目の大阪での商人体験では松之山の特産品などを商店街で販売することの大変さや、どのようにすれば良さをアピールできるかなど実際の体験を通じて学んだことは多かったようです。楽しい思い出とともに、多くの学びも得ることができた貴重な修学旅行でした。事前に学んだことを、実際に体験することで、その違いや難しさ、感動や喜びなどを体感し、考え方や見方を本当の意味で深めることができたようです。地域の皆様からも発表の感想をいただき、大変有意義な報告会となりました。



9月17日（木）松之山地すべり 60 周年事業 地すべりシンポジウム

9月17日（木）にシン・杵右衛門クラブ主催による「地すべりシンポジウム～松之山の魅力を語る～」がまつのやま学園を会場に開催されました。前半新潟大学から講師を招きご講演を聴きました。地すべりは大きな被害をもたらす災害であるが、一方で人々が暮らしやすい豊かな土地をつくるなど自然の恵みをもたらすことや、地すべりが発生するメカニズムをこの温泉地域の特徴とも関連付けながら子どもたちにも分かりやすく丁寧に教えていただきました。後半のパネルディスカッションでは、パネリストとして松之山地域の各分野の代表者の方々よりご参加いただき、温泉やくらし・文化、歴史の側面から松之山についてそれぞれの分野の立場から熱く語っていただきました。子どもたちは故郷松之山がどんなところなのか再認識し、更に故郷への想いを深めることができる良い機会となりました。



9月24日（木） 子どもサミット～オンラインで交流～

滋賀県長浜市立余呉小中学校と広島県廿日市市立宮島小中学校とまつのやま学園の3校をオンラインでつないで「子どもサミット」を実施しました。今年の全国サミットの会場となる余呉小中学校の生徒会の皆さんによる明るく元気な進行のもと、一人ずつの自己紹介から始まりました。その後、各校の紹介を行い、どの学校も特色ある教育活動が進められおり、子どもたちの紹介からは故郷への愛と誇りを感じるものばかりでした。まつのやま学園の9年生もこの松之山の大自然の中で地域の皆様と共に進める教育活動について分かりやすく丁寧に、そして誇りをもって紹介しました。短い時間の交流でしたが、たくさんの刺激をもらった有意義な時間となりました。



9月25日（金） 5年生稲刈り

「まつのやまタイム」のティーチングサポーターである地域の方よりご指導をいただき稲刈りを行いました。

5年生が心を込めて大切に育ててきた稲は豊かに実り、子どもたちは注意深く丁寧に刈り取りました。刈った稲は、校舎脇に運び稲架掛けをして乾燥させています。今後、お米の活用方法について話し合う予定です。



< 郡市発明工夫模型展 >

模型の部 入選 5 年
植物標本の部 入選 5 年
観察記録の部 入選 4 年
その他標本の部 入選 3 年



「スプレーアート」
「畑と田んぼの雑草標本」
「なぜアオダイショウは、ツバメの巣をおそうのか？」
「まつの山のクモ」

まつのやま学園創立 10 周年記念事業 10 月 31 日（土）

< 第 1 部 学園フェスタ >

☆Music Stage(ミュージックステージ) 9:00～ 9:30

☆Challenge Stage(チャレンジステージ) 9:35～10:45

※児童生徒の全校縦割り班での芸能発表・有志による芸能発表

< 第 2 部 創立 10 周年記念式典 >

☆挨拶・祝辞・思い出ムービー・感謝状授与・スピーチ等 11:00～12:00

10 月行事予定

生活目標：みんなで創ろう できたという喜びを

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	学校生活アンケート	20	火	SJ 期委員会活動 9 年子どもサミット②
2	金	英検	21	水	9 年学習の確認テスト
3	土		22	木	学校生活アンケート・いじめゼロアンケート
4	日		23	金	
5	月	SJ 期お弁当の日③	24	土	
6	火	SJ 期委員会活動 8 年まちの産業発見塾	25	日	
7	水		26	月	部活動なし
8	木	中体連中越地区駅伝大会（長岡） 学校生活アンケート	27	火	S J 期委員会活動
9	金	全校 5 限下校、部活動なし 3・4 年校外学習湯山方面（1～4 限） 8 年職業講話	28	水	中学部音楽交歓会（PM） 中学部家庭学習チャレンジウィーク（～11/3）
10	土	湯島駅伝・健康マラソン	29	木	5・6 年小学部郡市音楽交歓会（PM） 7 年「命・愛・人権」十日町展（段十ろう） 学校生活アンケート
11	日		30	金	9 年子どもサミット③ 全校 5 限後下校 部活動なし
12	月	スポーツの日	31	土	創立 10 周年記念学園フェスタ 記念式典・記念祝賀会
13	火	振替休業日	11 月		
14	水	7 年生英検 IBA	1	日	
15	木	8 年生英検 IBA 学校生活アンケート 7 年校外学習 就学時健康診断	2	月	振替休業日
16	金	9 年生英検 IBA H 秋の美人林清掃	3	火	文化の日
17	土	松之山こども野鳥の会	4	水	第 2 回家庭学習チャレンジウィーク（～18 日）
18	日		5	木	小学部秋の在来種保護活動 中体連県駅伝大会
19	月	教育相談週間（～23 日） 部活動なし	6	金	